

誤

単 価 表

番号	項目番号	項 目	数量	単位	単 価	金 額	摘 要
25	19 - (1)	交通規制工 車線規制A I × 1 × 0 (夜)	3	回			
26	19 - (1)	交通規制工 市原 I C Bランプ閉鎖 (夜)	1	回			
27	19 - (1)	交通規制工 市原 S A (下り線) 閉鎖 (夜)	1	回			
28	19 - (1)	交通規制工 千葉東 J C T閉鎖 (夜)	10	回			
29	19 - (1)	交通規制工 大宮 I C Cランプ閉鎖 (夜)	1	回			
30	19 - (1)	交通規制工 大宮 I C Dランプ閉鎖 (夜)	1	回			
31	19 - (1)	交通規制工 東金 I Cレーン閉鎖規制 (夜)	2	回			
32	19 - (2)	交通保安要員 交通監視員A (夜)	1,549	人・日			
33	19 - (2)	交通保安要員 交通誘導警備員B (夜)	142	人・日			
34	特 - (1)	路面切削工 路面切削工A 1 (夜)	487	m3			
35	特 - (1)	路面切削工 路面切削工A 2 (夜)	134	m3			
36	特 - (2)	ループコイル敷設工 ループコイル敷設工A (夜)	5	箇所			

正

単 価 表

番号	項目番号	項 目	数量	単位	単 価	金 額	摘 要
25	19 - (1)	交通規制工 車線規制A I × 1 × 0 (夜)	3	回			
26	19 - (1)	交通規制工 市原 I C Bランプ閉鎖 (夜)	1	回			
27	19 - (1)	交通規制工 市原 S A (下り線) 閉鎖 (夜)	1	回			
28	19 - (1)	交通規制工 千葉東 J C T閉鎖 (夜)	10	回			
29	19 - (1)	交通規制工 大宮 I C Cランプ閉鎖 (夜)	1	回			
30	19 - (1)	交通規制工 大宮 I C Dランプ閉鎖 (夜)	1	回			
31	19 - (1)	交通規制工 東金 I Cレーン閉鎖規制 (夜)	2	回			
32	19 - (2)	交通保安要員 交通監視員A (夜)	1,528	人・日			
33	19 - (2)	交通保安要員 交通誘導警備員B (夜)	142	人・日			
34	特 - (1)	路面切削工 路面切削工A 1 (夜)	487	m3			
35	特 - (1)	路面切削工 路面切削工A 2 (夜)	134	m3			
36	特 - (2)	ループコイル敷設工 ループコイル敷設工A (夜)	5	箇所			

誤

数量明細書(2/4)

Table with columns for item number, work name, drawing number, and various material codes. It lists items 1 through 35 with their respective specifications and quantities.

正

数量明細書(2/4)

Table with columns for item number, work name, drawing number, and various material codes. It lists items 1 through 35 with their respective specifications and quantities, including a correction for item 17.

誤

数量明細書(4/4)

5/137

Table with columns for item number, work name, section number, and various material codes (23-42). It lists quantities for items like 'ランプ' and '本線' across different sections.

正

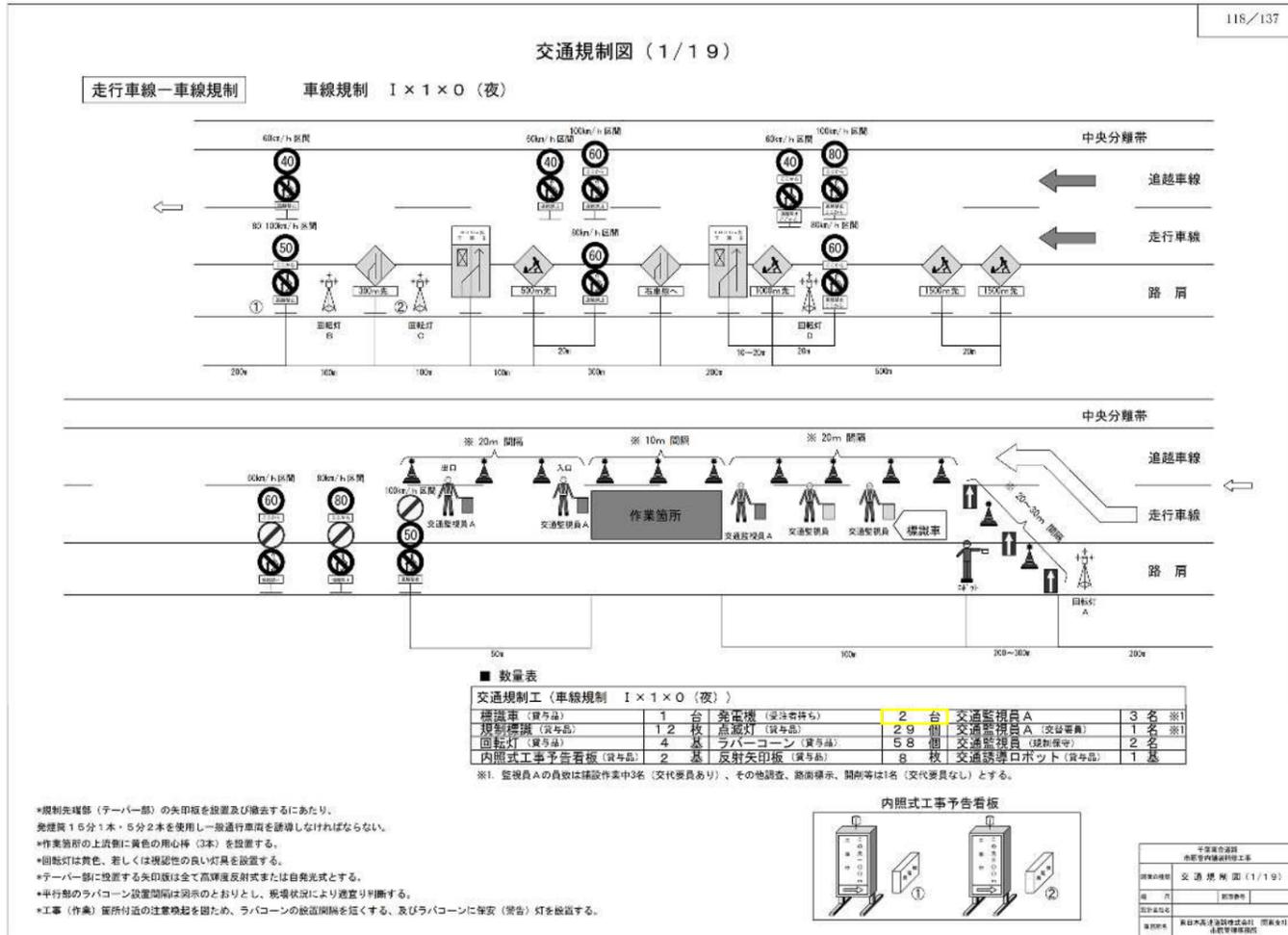
数量明細書(4/4)

5/137

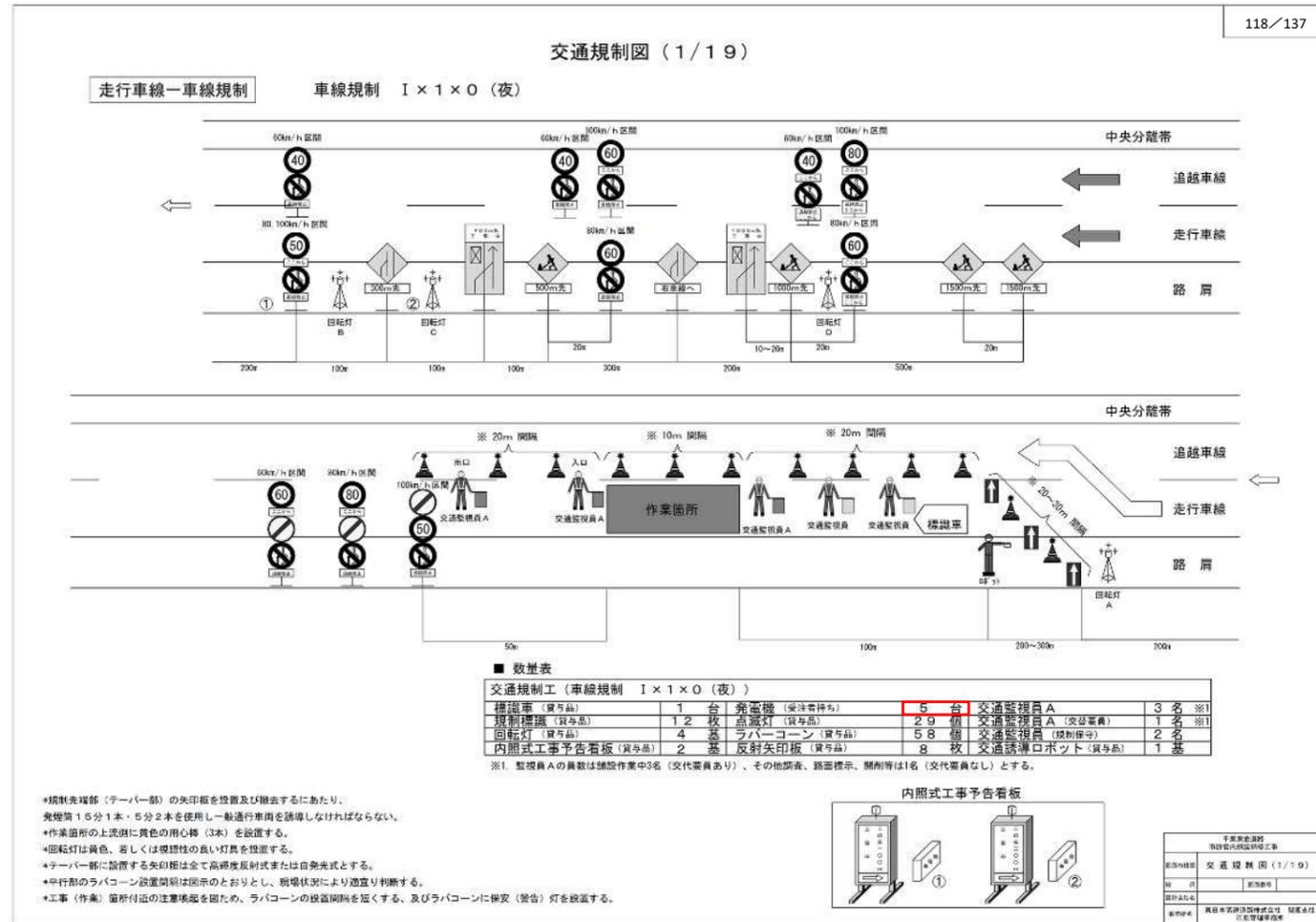
Table with columns for item number, work name, section number, and various material codes (23-42). It lists quantities for items like 'ランプ' and '本線' across different sections, similar to the first table but with corrected values.

対象
誤

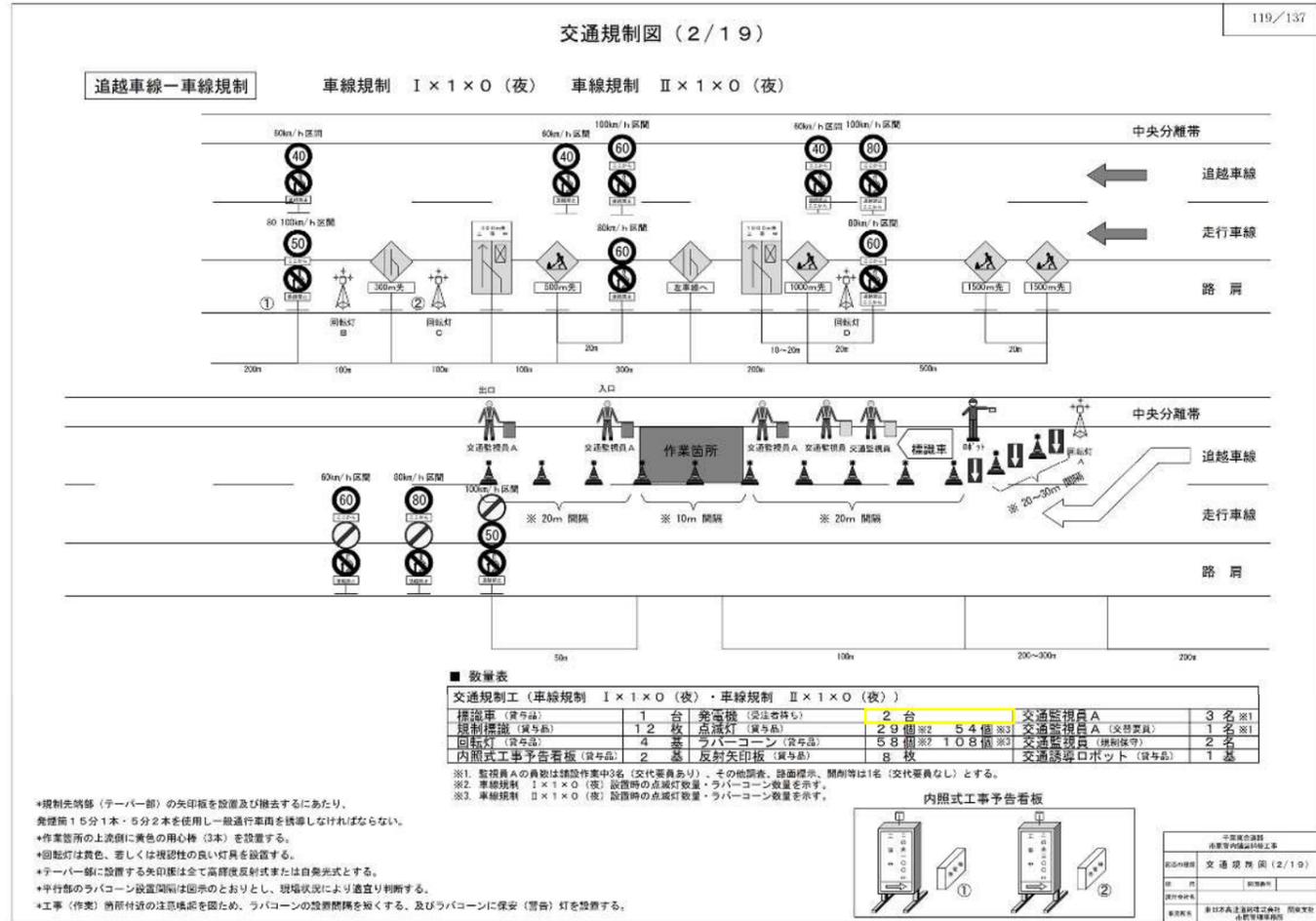
設計図 118/137 交通規制図 (1/19)



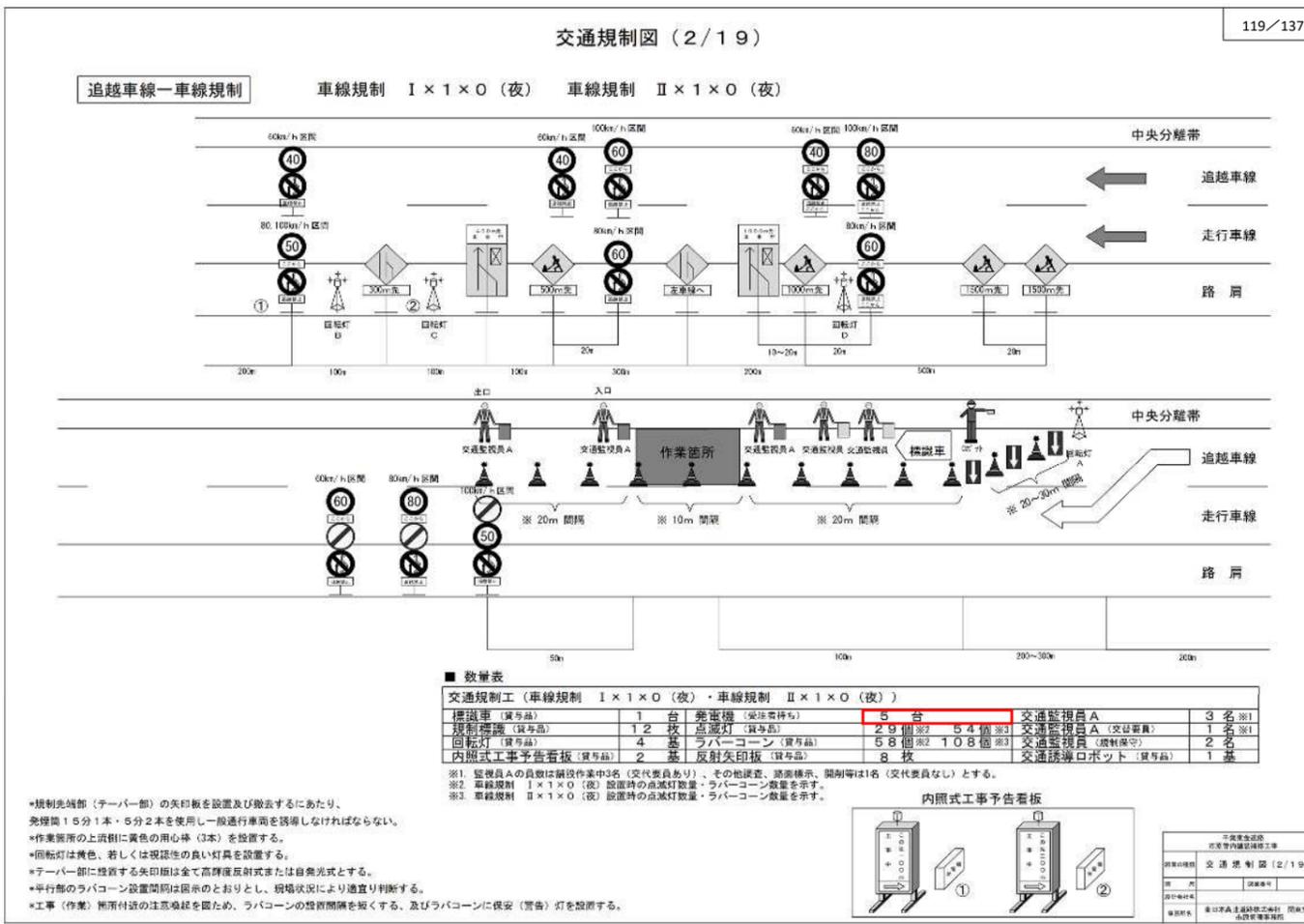
正



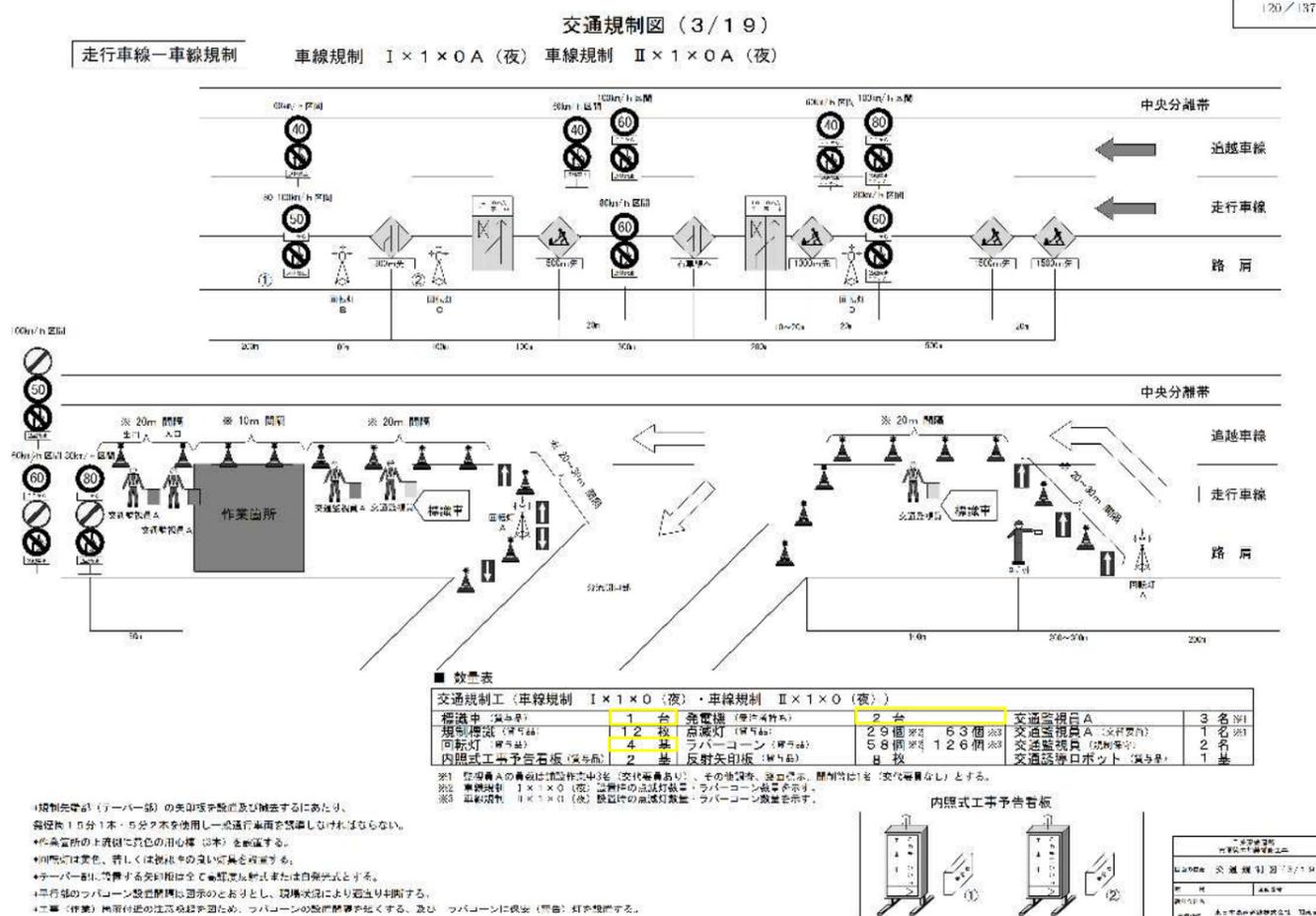
誤



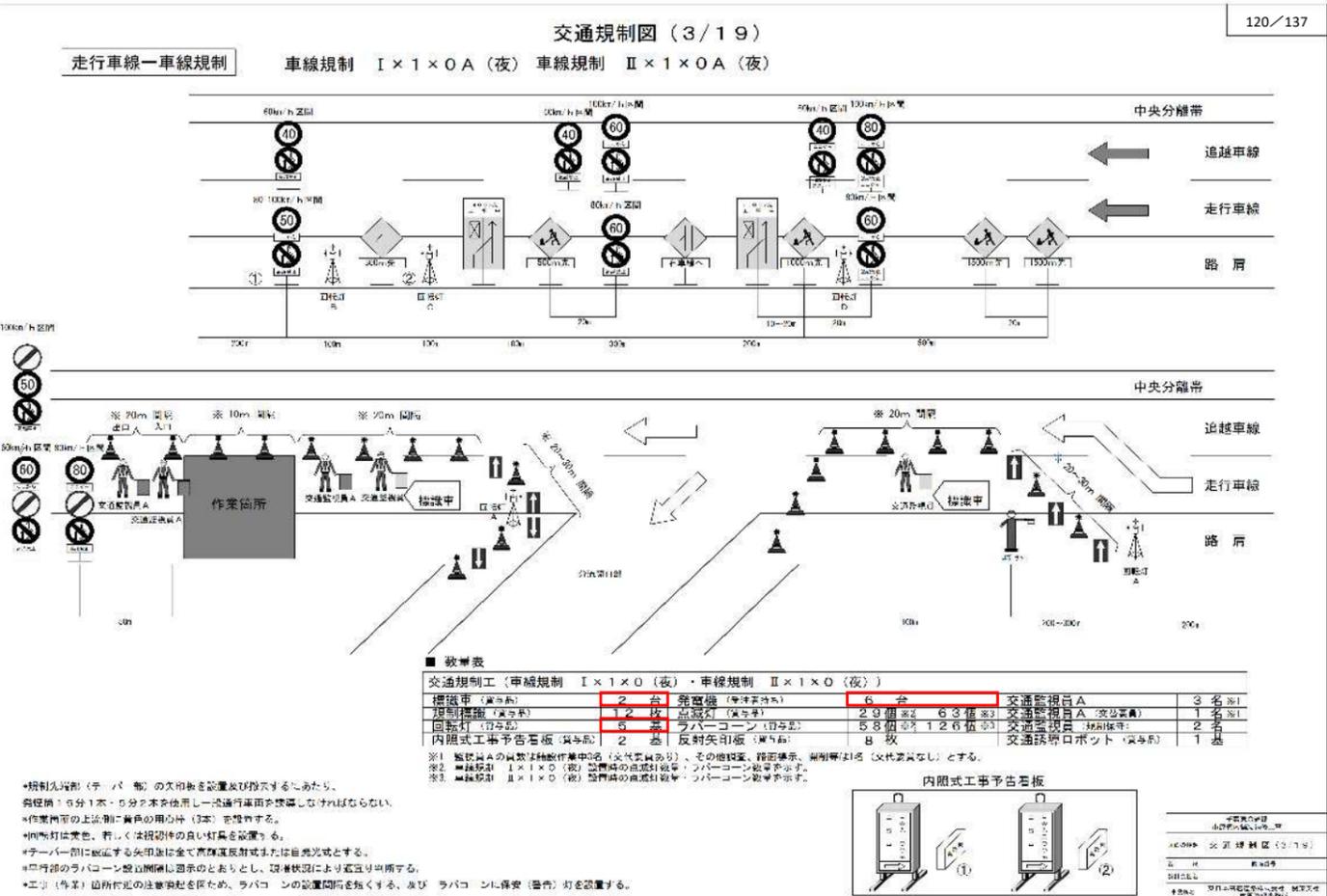
正



誤



正



誤

121/137

交通規制図 (4/19)

走行車線一車線規制 **車線規制 II × 1 × 0 B (夜)**

■ 数量表

交通規制工 (車線規制 II × 1 × 0 B (夜))			
標識車 (資用品)	3 台	発電機 (要注者持ち)	2 台
規制標識 (資用品)	15 枚	点滅灯 (資用品)	51 個
回転灯 (資用品)	6 基	ラバーコーン (資用品)	102 個
内照式工事予告看板 (資用品)	2 基	反射矢印板 (資用品)	20 枚
		交通監視員 A (交替要員)	3 名 ※1
		交通監視員 A (交替要員)	1 名 ※1
		交通監視員 (規制保守)	3 名
		交通誘導ロボット (資用品)	1 基

※1. 監視員 A の員数は舗設作業中3名 (交代要員あり)、その他調査、踏査標示、閉鎖等は1名 (交代要員なし) とする。

内照式工事予告看板

*規制先端部 (テーパー部) の矢印板を設置及び撤去するにあたり、発煙筒 1.5分1本・5分2本を使用し一般通行車両を誘導しなければならない。
 *作業箇所の上流側に黄色の用心棒 (3本) を設置する。
 *回転灯は黄色、若しくは視認性の良い灯具を設置する。
 *テーパー部に設置する矢印板は全て高輝度反射式または自発光式とする。
 *平行部のラバーコーン設置間隔は図示のとおりとし、現場状況により適宜判断する。
 *工事 (作業) 箇所付近の注意喚起を図ため、ラバーコーンの設置間隔を短くする、及び ラバーコーンに保安 (警告) 灯を設置する。

作業内容	交通規制工 (4/19)
設計者	田中 隆幸

正

121/137

交通規制図 (4/19)

走行車線一車線規制 **車線規制 II × 1 × 0 B (夜)**

■ 数量表

交通規制工 (車線規制 II × 1 × 0 B (夜))			
標識車 (資用品)	3 台	発電機 (要注者持ち)	7 台
規制標識 (資用品)	15 枚	点滅灯 (資用品)	51 個
回転灯 (資用品)	6 基	ラバーコーン (資用品)	102 個
内照式工事予告看板 (資用品)	2 基	反射矢印板 (資用品)	20 枚
		交通監視員 A (交替要員)	3 名 ※1
		交通監視員 A (交替要員)	1 名 ※1
		交通監視員 (規制保守)	3 名
		交通誘導ロボット (資用品)	1 基

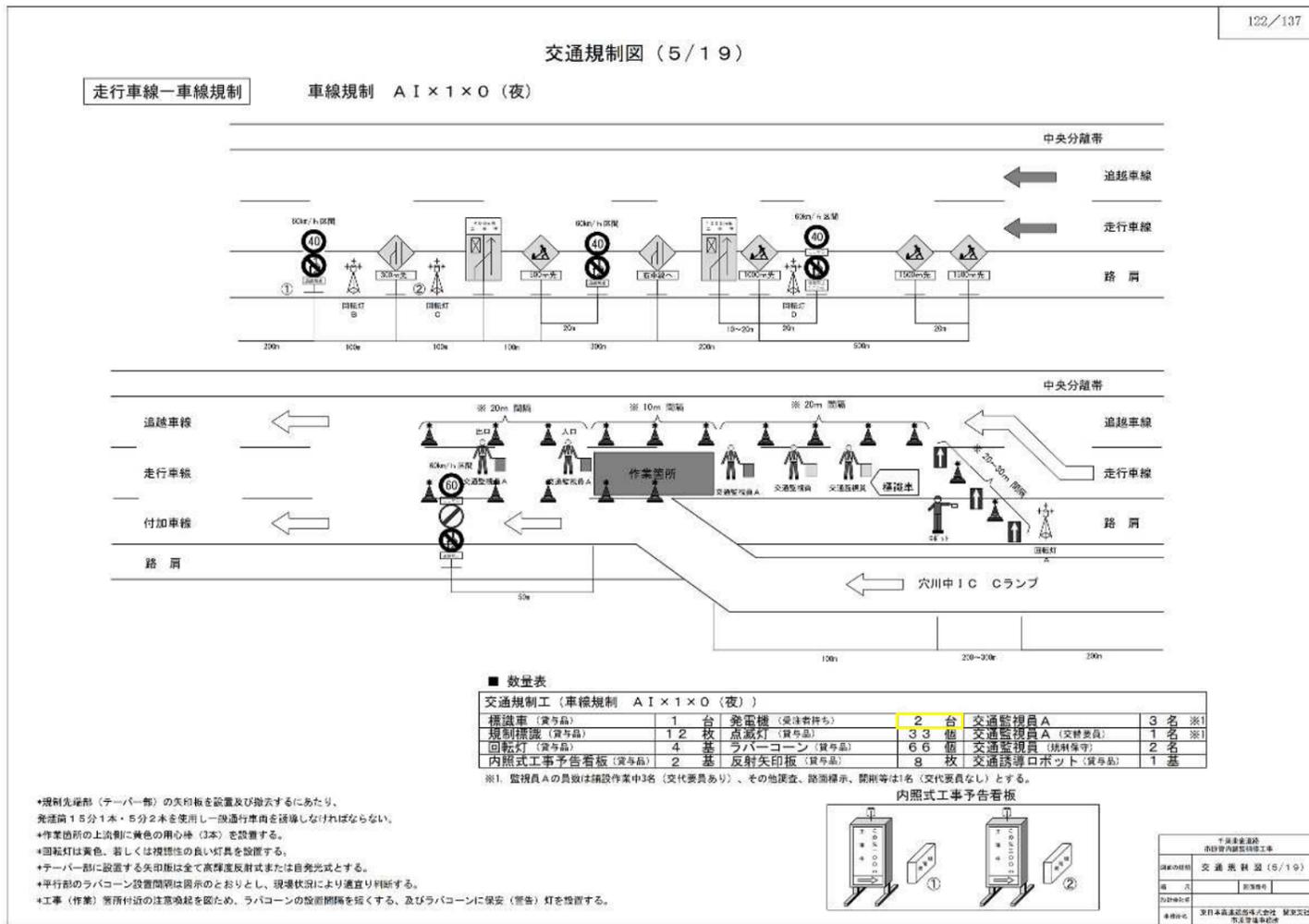
※1. 監視員 A の員数は舗設作業中3名 (交代要員あり)、その他調査、踏査標示、閉鎖等は1名 (交代要員なし) とする。

内照式工事予告看板

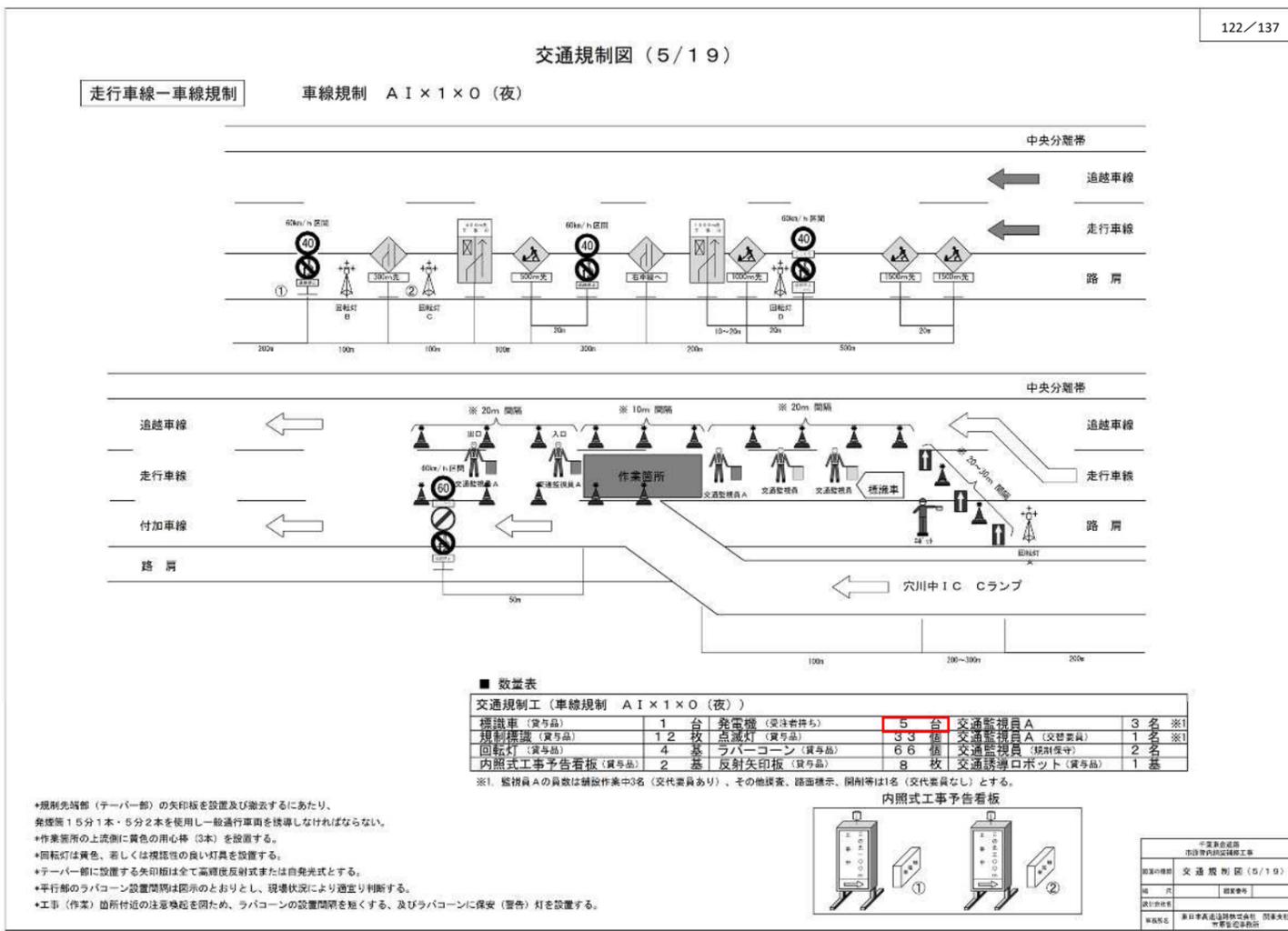
*規制先端部 (テーパー部) の矢印板を設置及び撤去するにあたり、発煙筒 1.5分1本・5分2本を使用し一般通行車両を誘導しなければならない。
 *作業箇所の上流側に黄色の用心棒 (3本) を設置する。
 *回転灯は黄色、若しくは視認性の良い灯具を設置する。
 *テーパー部に設置する矢印板は全て高輝度反射式または自発光式とする。
 *平行部のラバーコーン設置間隔は図示のとおりとし、現場状況により適宜判断する。
 *工事 (作業) 箇所付近の注意喚起を図ため、ラバーコーンの設置間隔を短くする、及び ラバーコーンに保安 (警告) 灯を設置する。

作業内容	交通規制工 (4/19)
設計者	田中 隆幸

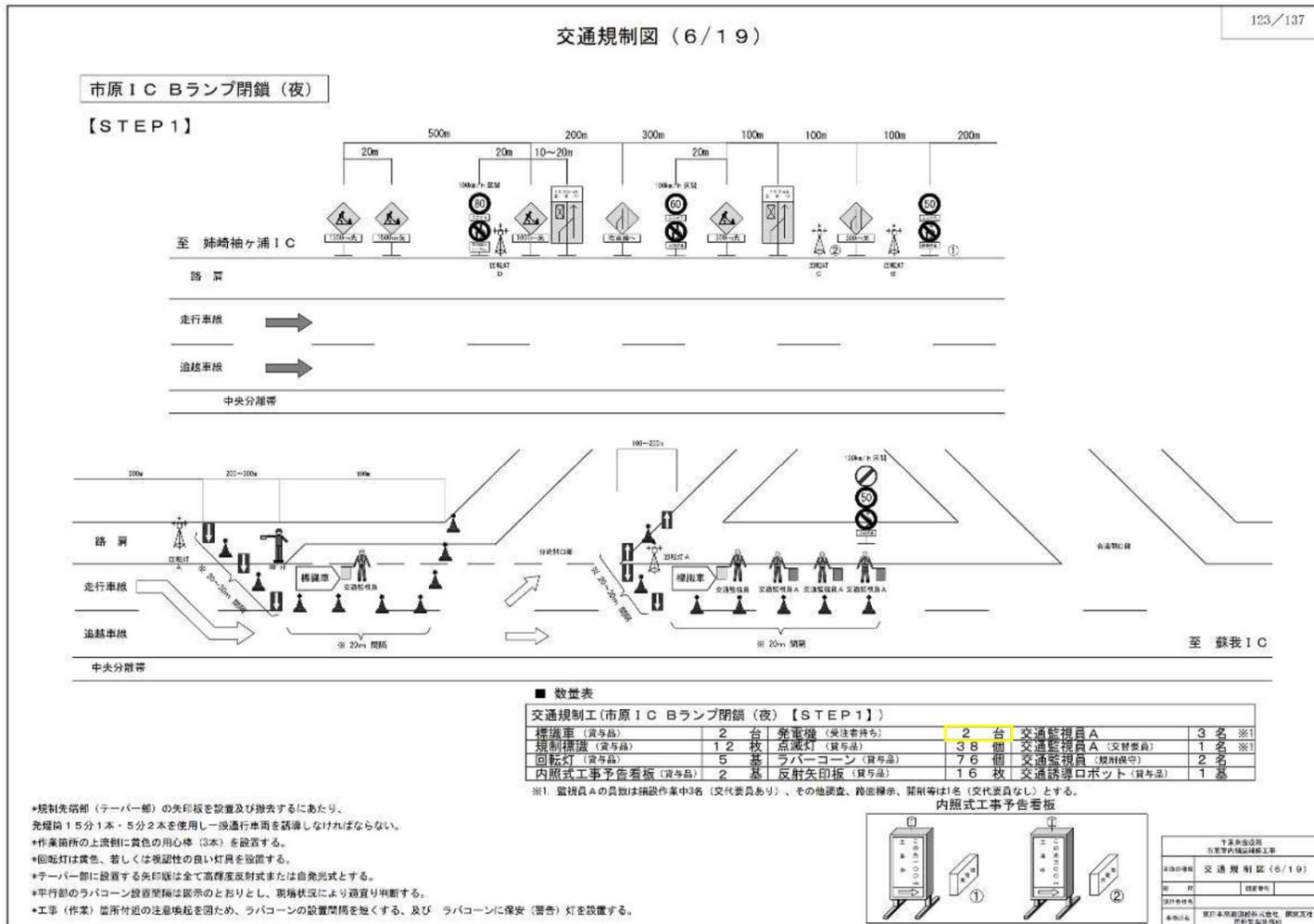
誤



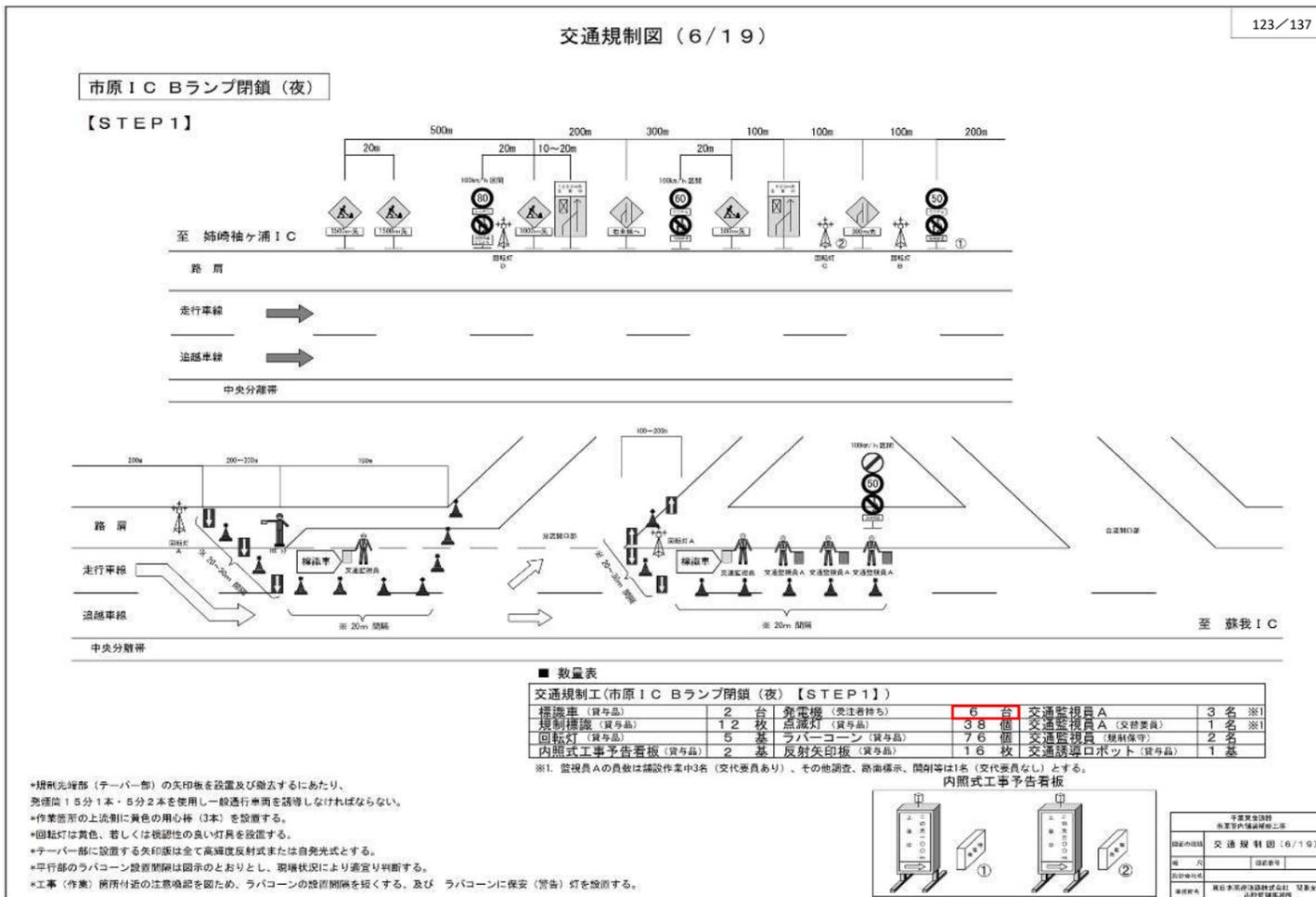
正



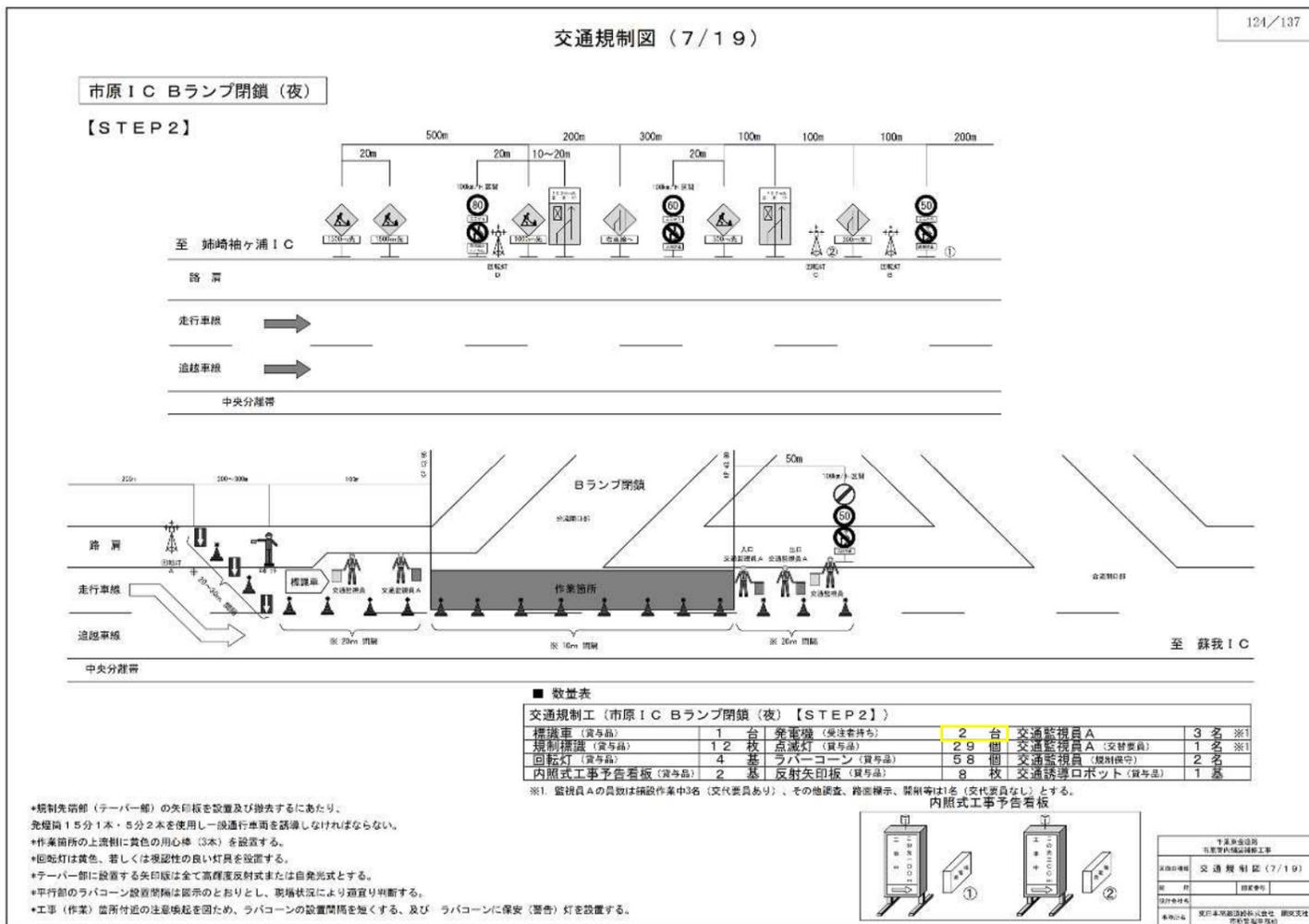
誤



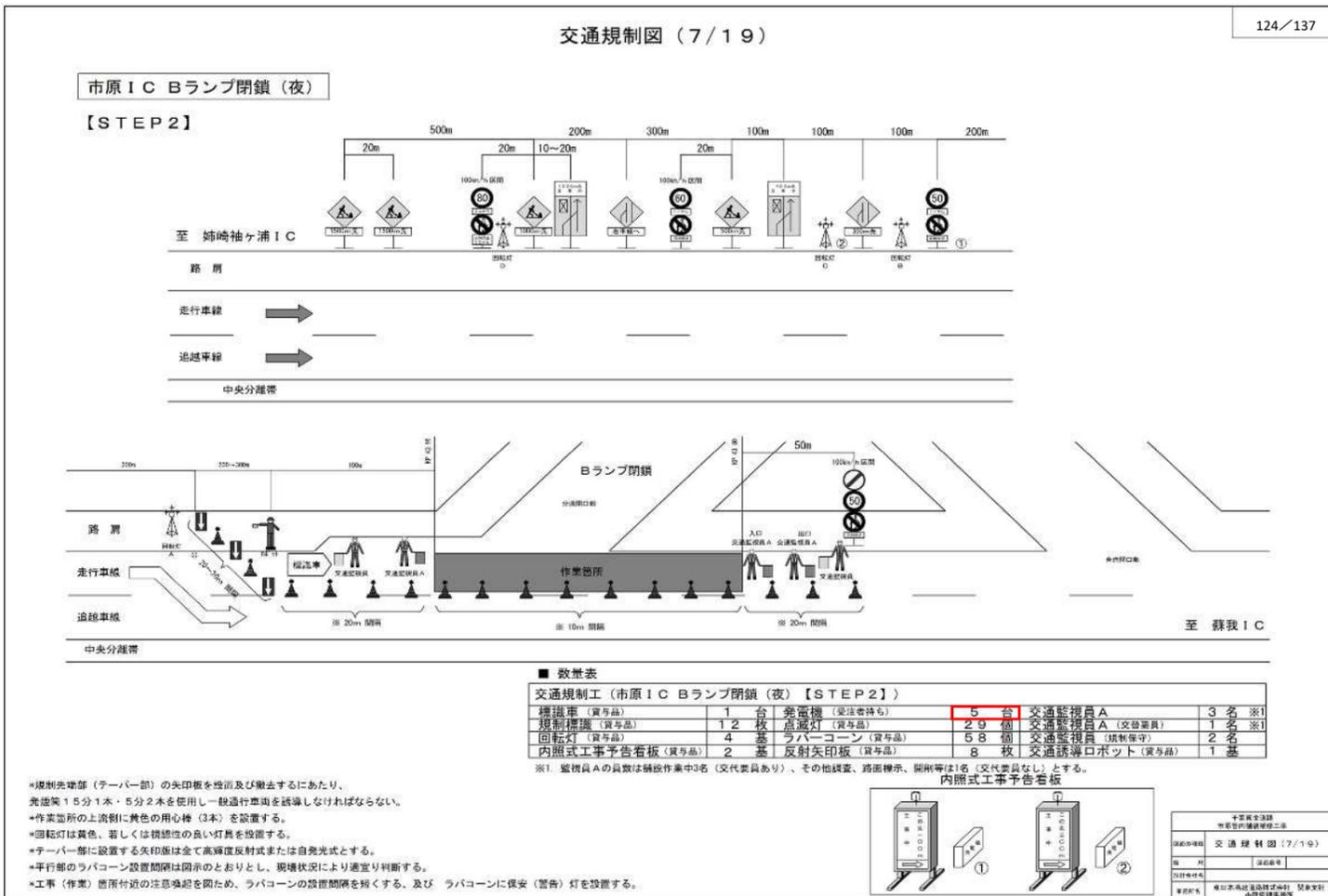
正



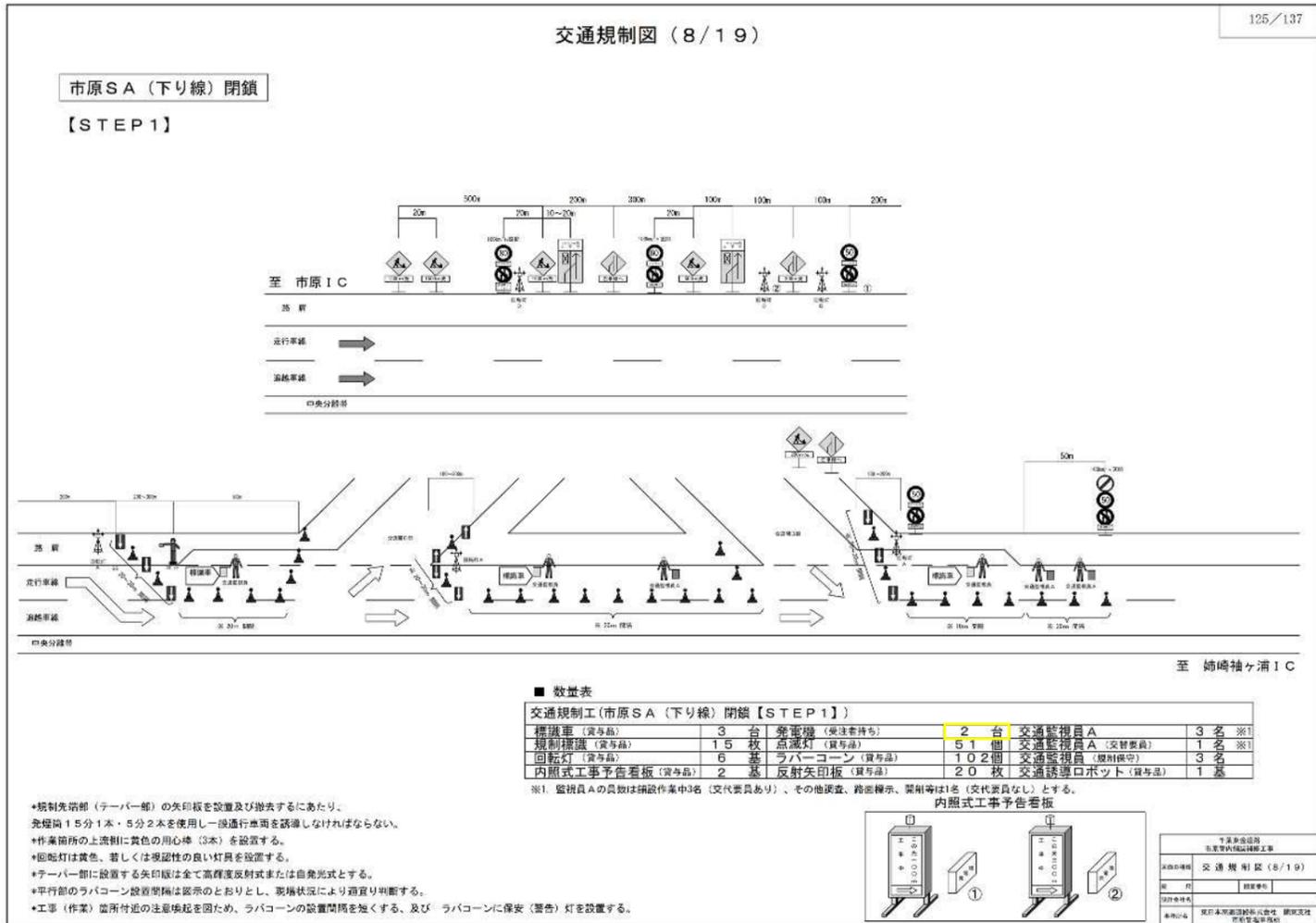
誤



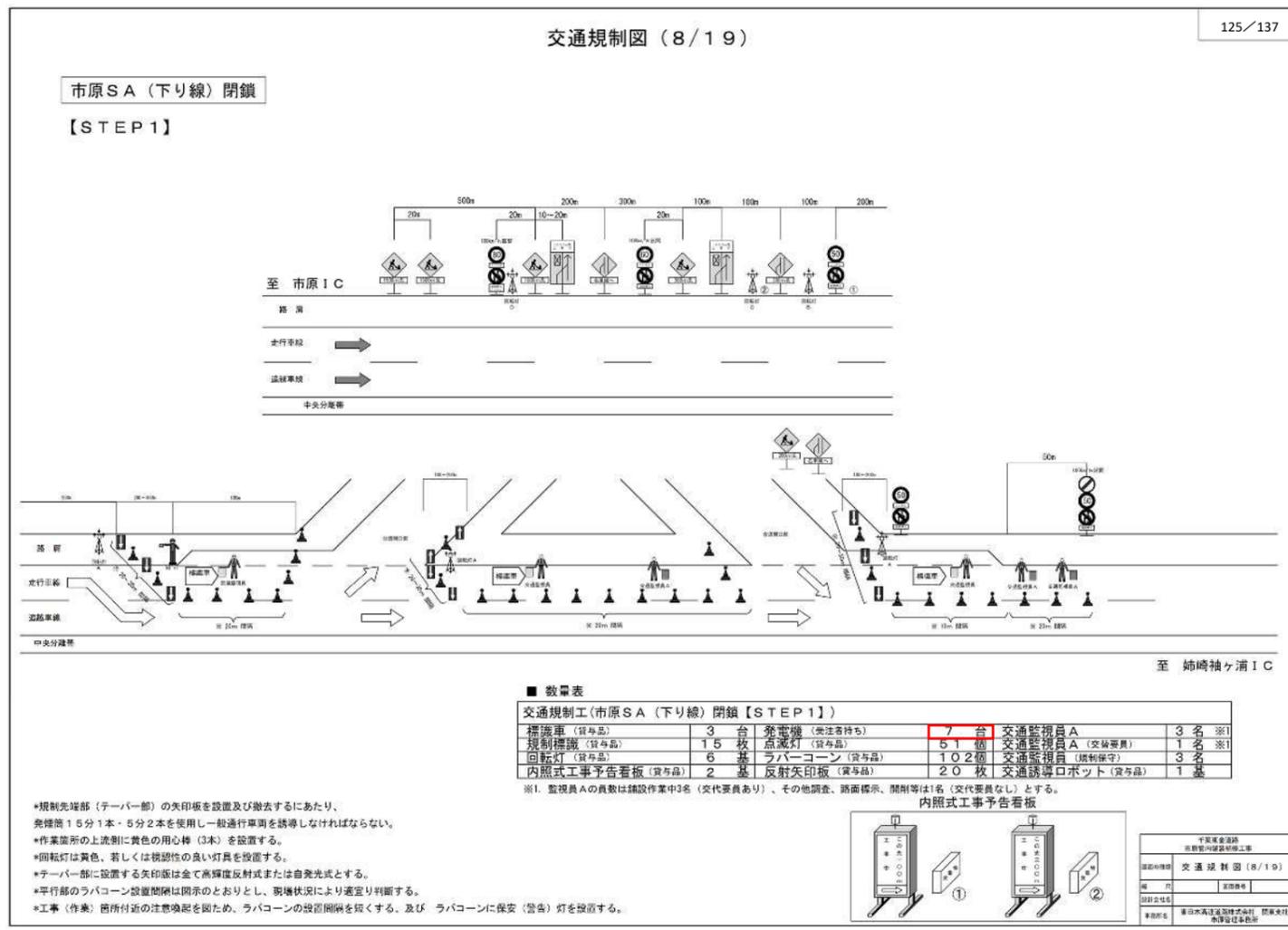
正



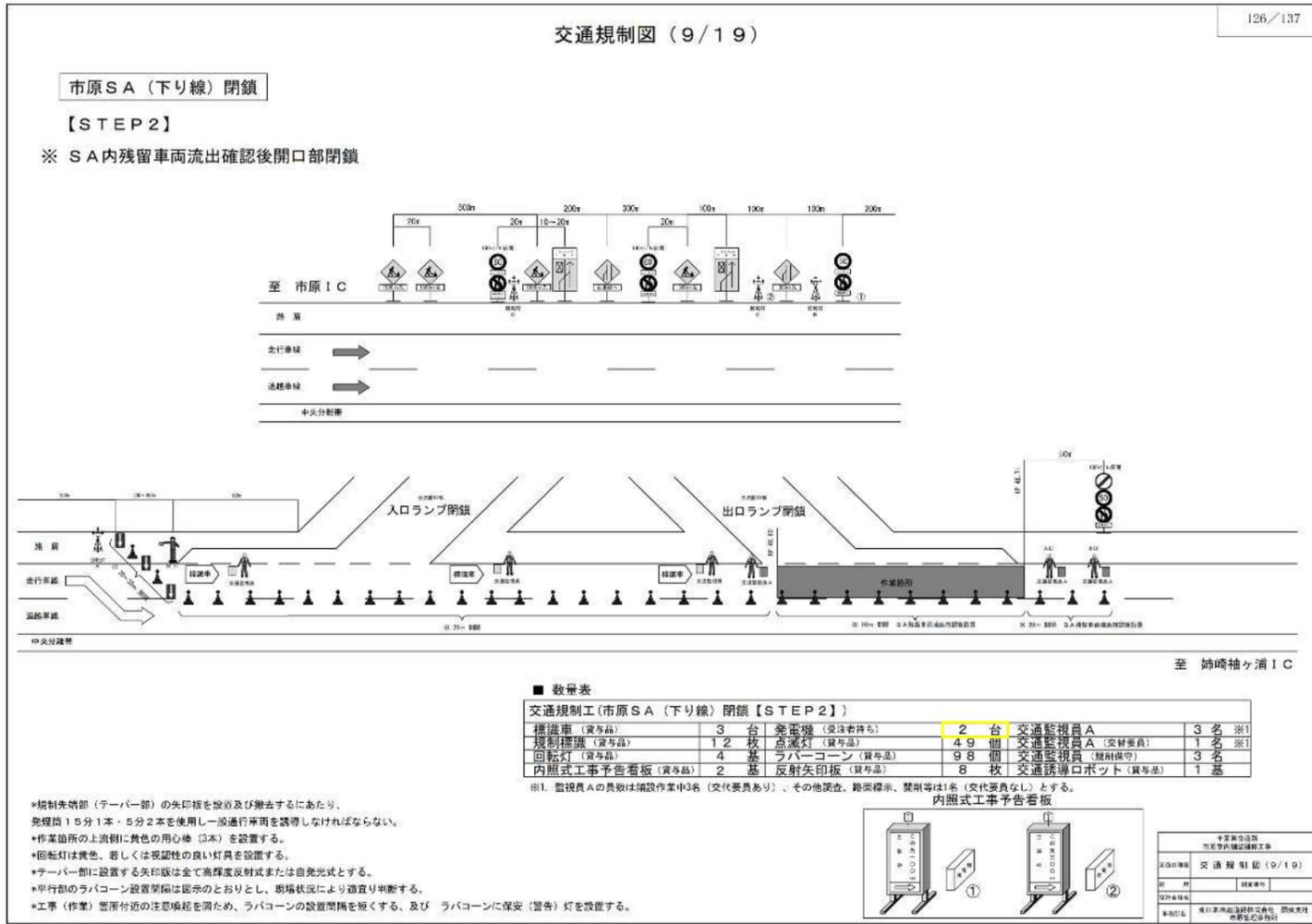
誤



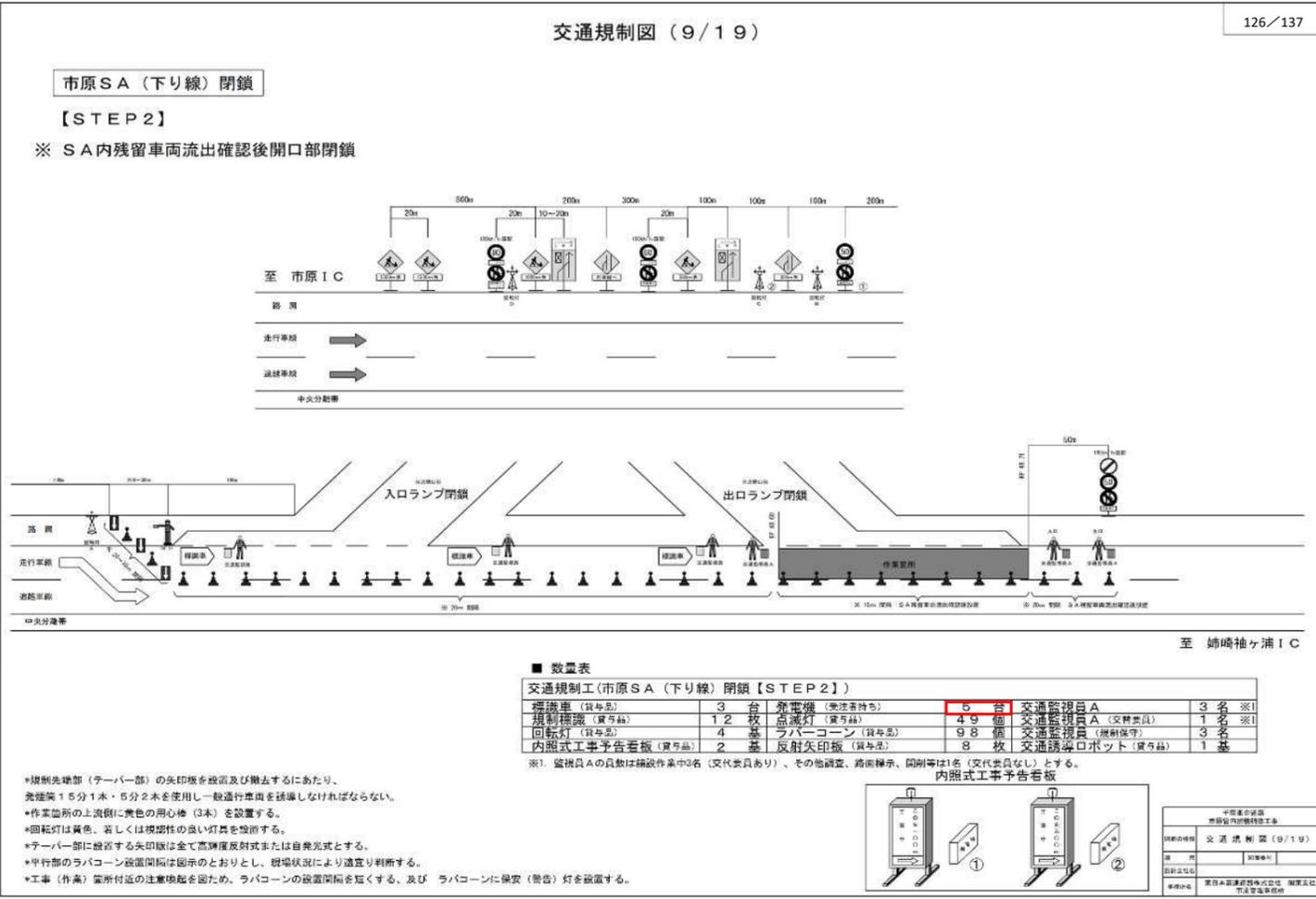
正



誤



正



誤

127/137

交通規制図 (10/19)

千葉東JCT閉鎖 (夜)
本線規制【STEP1】

■ 数量表

交通規制工(千葉東JCT閉鎖(夜))【STEP1】

標識車 (資用品)	3 台	発電機 (受注者持ち)	2 台	交通監視員 A	1 名 ※1
規制標識 (資用品)	15 枚	点滅灯 (資用品)	27 個	交通監視員 A (交替要員)	1 名 ※1
回転灯 (資用品)	6 基	ラバーコーン (資用品)	54 個	交通監視員 (規制保守)	3 名
内照式工事予告看板 (資用品)	2 基	反射矢印板 (資用品)	20 枚	交通誘導ロボット (資用品)	1 基

※1: 監視員Aの員数は舗設作業中3名(交代要員あり)、その他調査、路面標示、閉鎖等は1名(交代要員なし)とする。

※規制先端部(テーパー部)の矢印板を設置及び撤去するにあたり、発煙筒1.5分1本・5分2本を使用し一般通行車両を誘導しなければならない。
 ※作業箇所の上流側に黄色の用心棒(3本)を設置する。
 ※回転灯は黄色、若しくは視認性の良い灯具を設置する。
 ※テーパー部に設置する矢印板は全て高輝度反射式または自発光式とする。
 ※先行部のラバコーン設置間隔は図示のとおりとし、現場状況により適宜判断する。
 ※工事(作業)箇所付近の注意喚起を図ため、ラバコーンの設置間隔を短くする、及びラバコーンに保安(警告)灯を設置する。

内照式工事予告看板

千葉県建設局 道路部内線規制係	交通規制図(10/19)
図 例	図 解 説
図 解 説	図 解 説
発行年度	2019年度
発行部数	100部
発行所	千葉県建設局 道路部内線規制係

正

127/137

交通規制図 (10/19)

千葉東JCT閉鎖 (夜)
本線規制【STEP1】

■ 数量表

交通規制工(千葉東JCT閉鎖(夜))【STEP1】

標識車 (資用品)	3 台	発電機 (受注者持ち)	2 台	交通監視員 A	1 名 ※1
規制標識 (資用品)	15 枚	点滅灯 (資用品)	27 個	交通監視員 A (交替要員)	1 名 ※1
回転灯 (資用品)	6 基	ラバーコーン (資用品)	54 個	交通監視員 (規制保守)	3 名
内照式工事予告看板 (資用品)	2 基	反射矢印板 (資用品)	20 枚	交通誘導ロボット (資用品)	1 基

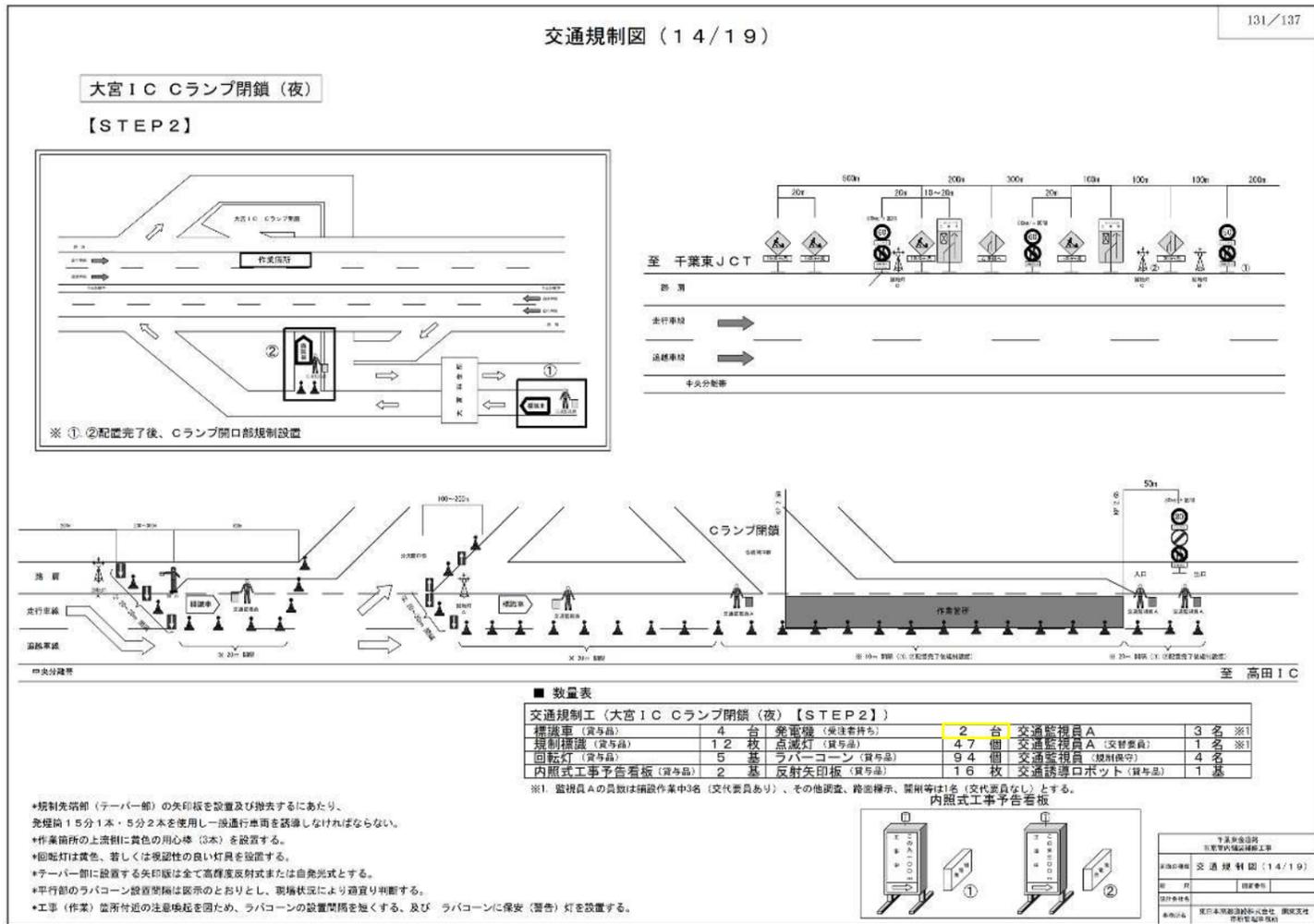
※1: 監視員Aの員数は舗設作業中3名(交代要員あり)、その他調査、路面標示、閉鎖等は1名(交代要員なし)とする。

※規制先端部(テーパー部)の矢印板を設置及び撤去するにあたり、発煙筒1.5分1本・5分2本を使用し一般通行車両を誘導しなければならない。
 ※作業箇所の上流側に黄色の用心棒(3本)を設置する。
 ※回転灯は黄色、若しくは視認性の良い灯具を設置する。
 ※テーパー部に設置する矢印板は全て高輝度反射式または自発光式とする。
 ※先行部のラバコーン設置間隔は図示のとおりとし、現場状況により適宜判断する。
 ※工事(作業)箇所付近の注意喚起を図ため、ラバコーンの設置間隔を短くする、及びラバコーンに保安(警告)灯を設置する。

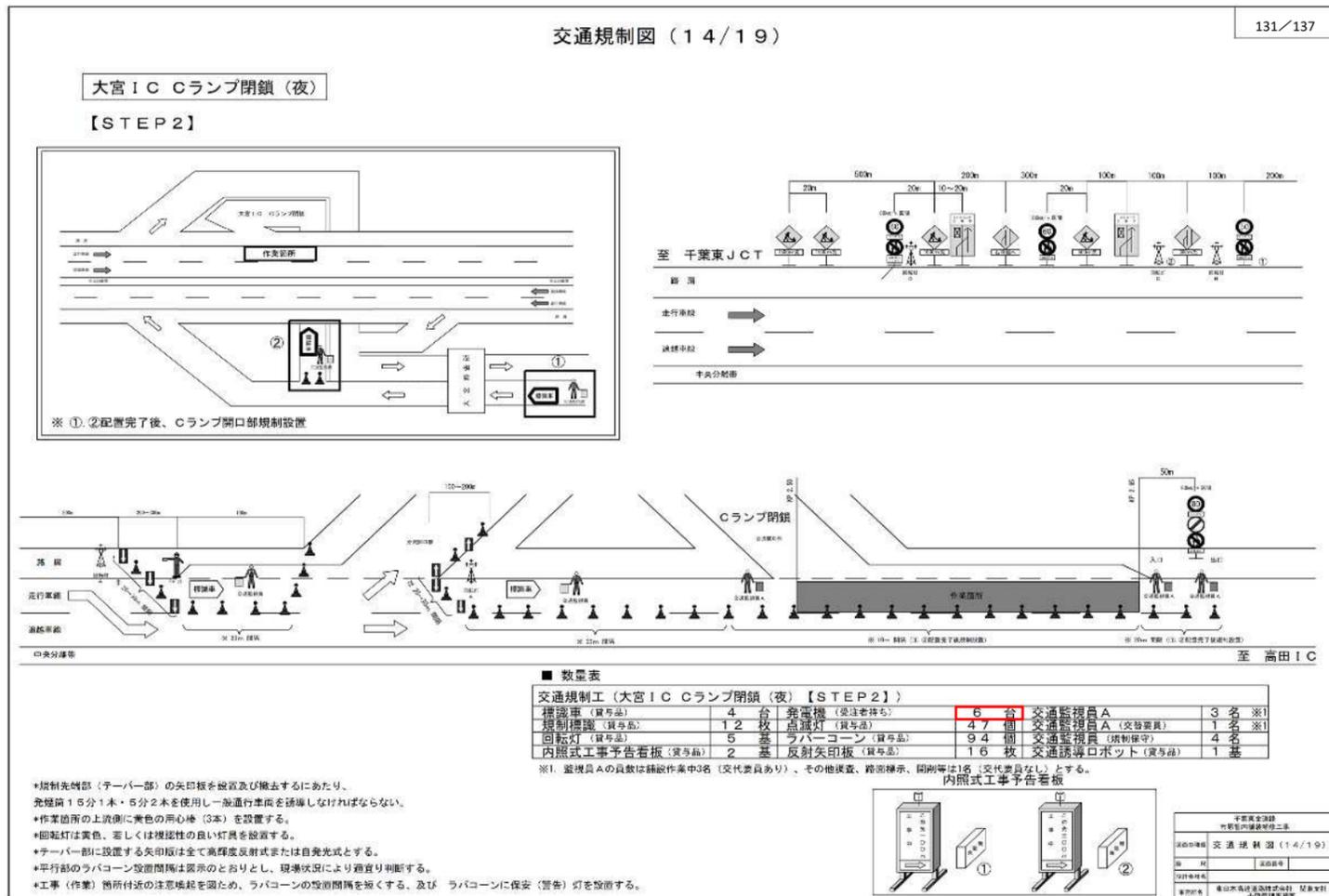
内照式工事予告看板

千葉県建設局 道路部内線規制係	交通規制図(10/19)
図 例	図 解 説
図 解 説	図 解 説
発行年度	2019年度
発行部数	100部
発行所	千葉県建設局 道路部内線規制係

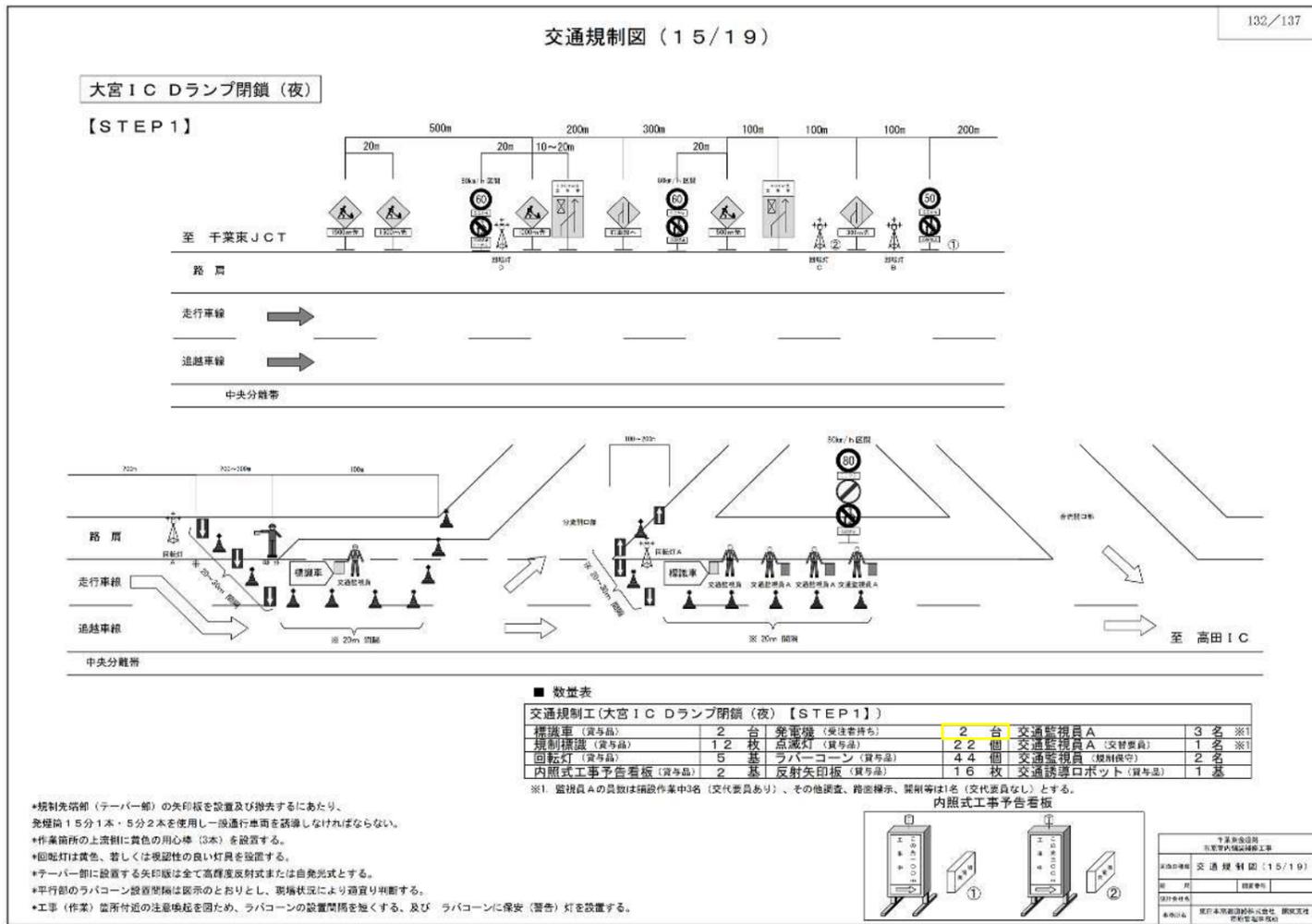
誤



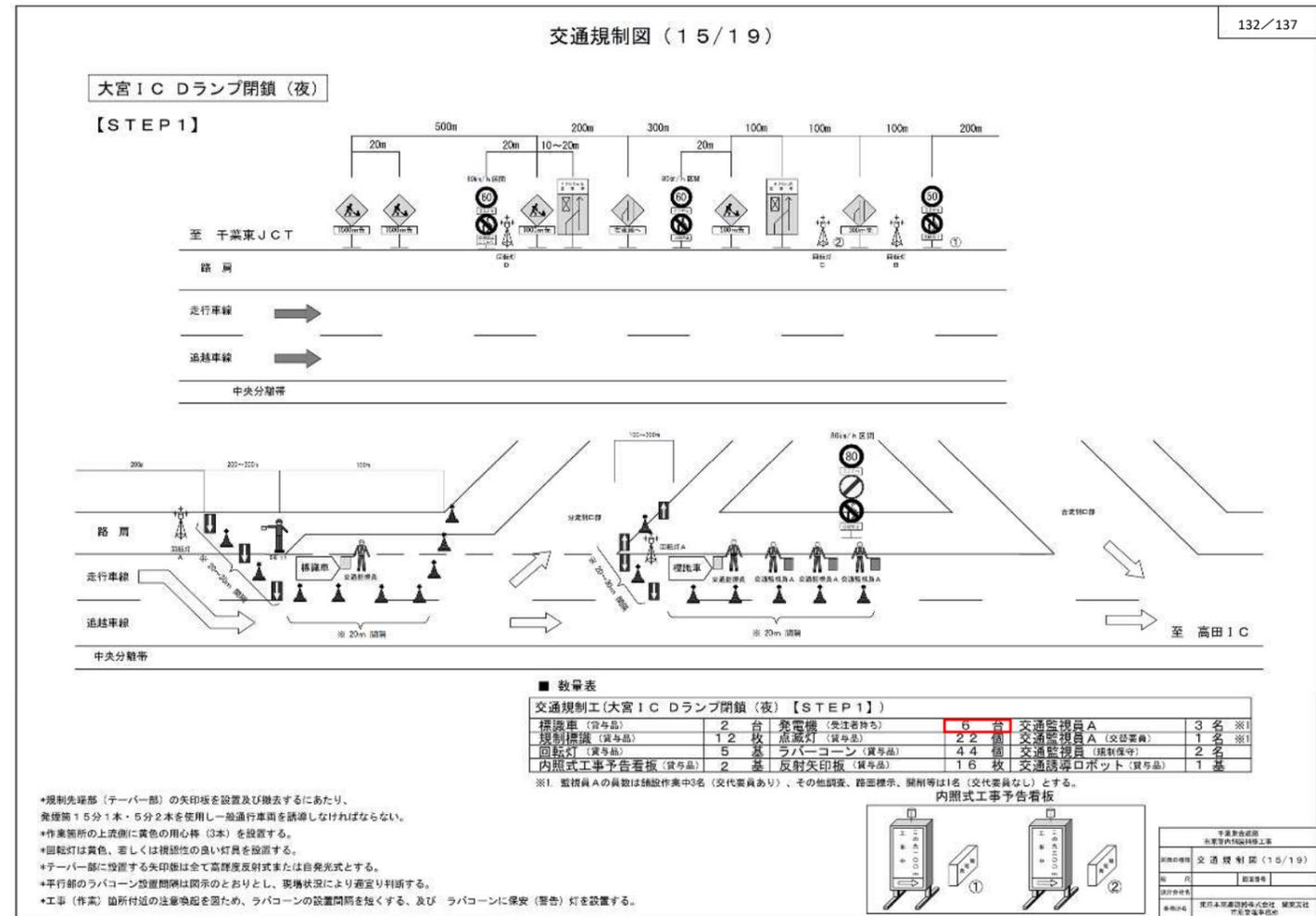
正



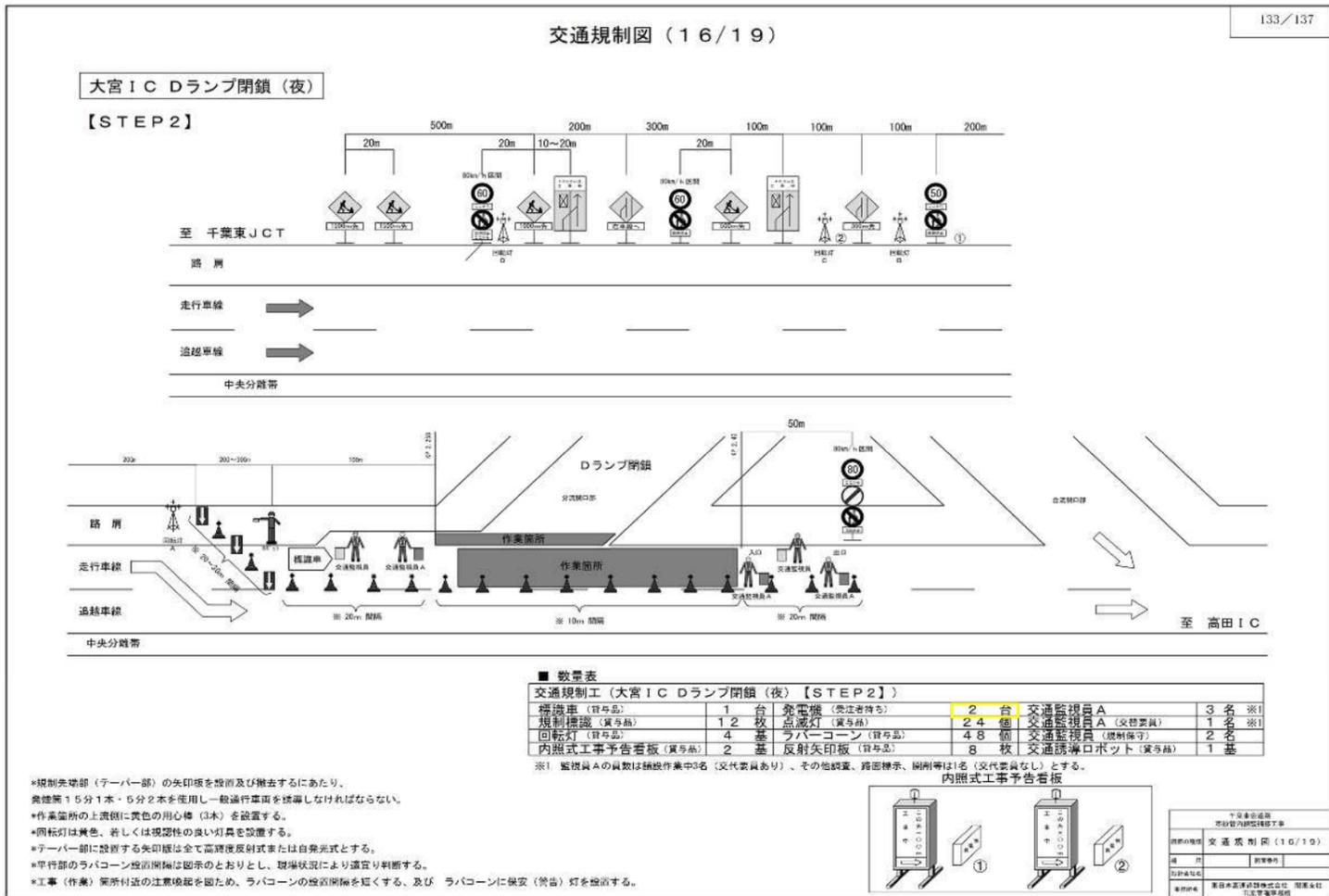
誤



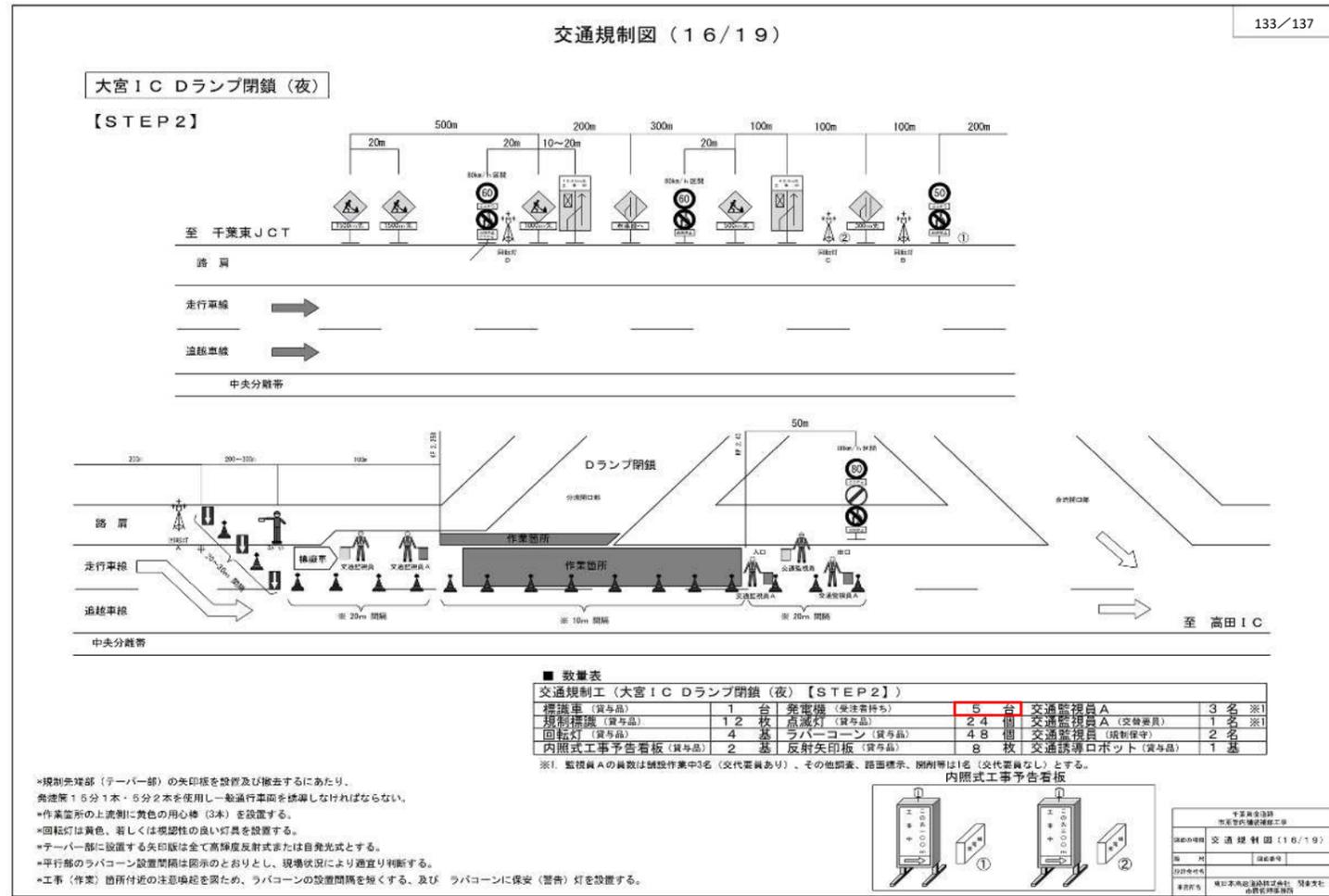
正



誤



正



対象	特記仕様書 1 1. 貸与品に関する事項の内容																																
誤	<p>表の提出」で規定する工程表（様式-1）と合わせて提出するものとする。また、工事費構成内訳書の提出は、当初契約締結時とし、契約変更時の提出は要しないものとする。</p> <p>1 0. 工程表及び履行報告に関する事項 共通仕様書 1-1 9-1 「工程表の提出」及び 1-1 9-2 「履行報告」に規定する工程表（様式-1）の記入方法は次のとおりとし、履行報告書（様式-2）と合わせて提出するものとする。</p> <p>(1) 共通仕様書 1-1 9-1 「工程表の提出」に規定する工程表</p> <ol style="list-style-type: none"> 準備工・後片付けは、工程のみを棒グラフで記入する。 準備工・後片付け以外の項目は、工程を棒グラフで記入し、棒グラフの上段に各月ごとに累計計画出来高（％）を記入する。 右側摘要部分の目盛に従い計画出来高累計曲線を記入する。 工程表に示す項目は下表のとおりとする。 <table border="1" data-bbox="695 566 1388 670"> <thead> <tr> <th colspan="2">工程表の項目</th> <th colspan="2">単価表の項目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>各路線別及び橋梁別</td> <td>オーバーレイ工</td> <td>オーバーレイ工、レベリング工、床版防水工、路面切削工</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>切削オーバーレイ工</td> <td>切削オーバーレイ工</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>雑工</td> <td>上記以外の合計</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 共通仕様書 1-1 9-2 「履行報告」に規定する工程表 上記、工程表に下記の事項を記入し報告するものとする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 棒グラフの下段に当月までの累計実施出来高を記入し、翌月以降の予定を（ ）で記入する。 計画出来高累計曲線に当月までの累計実施出来高及び翌月以降の予定を点線で記入する。 <p>1 1. 貸与品に関する事項 契約書第 1 5 条第 1 項に基づく貸与品は、下表のとおりとし、設計図書に定められた使用目的以外に資機材を使用してはならない。</p> <table border="1" data-bbox="695 902 1388 1041"> <thead> <tr> <th>品名</th> <th>規格等</th> <th>数量</th> <th>引渡場所及び引渡時期</th> <th>貸与期間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>標識車</td> <td>2 t</td> <td>3 台</td> <td rowspan="3">市原管理事務所 工事開始時</td> <td rowspan="3">工事期間中</td> </tr> <tr> <td>標識</td> <td>車載式</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>交通規制標識類</td> <td>高速道路等の交通規制に必要な数量</td> <td>1 式</td> </tr> </tbody> </table> <p>貸与機械の使用は無償とする。なお、機械の運転に要する燃料、油脂、現場修理及び管理に要する費用は、関連する単価表の項目の単価に含まれるものとし、別途支払は行わないものとする。</p> <p>1 2. 保安に関する事項 1 2-1 安全管理の強化 1 2-1-1 第三者被害を想定した重大事故防止の取組み</p> <p>(1) 定義 第三者被害を想定した重大事故防止の取組みとは、第三者への被害が想定される事故や供用中道路の通行止めや大渋滞に至る事故等（以下「重大事故リスク」という。）について、受発注者が一体となって安全向上に努める取組みをいう。</p> <p style="text-align: center;">9</p>	工程表の項目		単価表の項目		各路線別及び橋梁別	オーバーレイ工	オーバーレイ工、レベリング工、床版防水工、路面切削工			切削オーバーレイ工	切削オーバーレイ工			雑工	上記以外の合計		品名	規格等	数量	引渡場所及び引渡時期	貸与期間	標識車	2 t	3 台	市原管理事務所 工事開始時	工事期間中	標識	車載式	—	交通規制標識類	高速道路等の交通規制に必要な数量	1 式
工程表の項目		単価表の項目																															
各路線別及び橋梁別	オーバーレイ工	オーバーレイ工、レベリング工、床版防水工、路面切削工																															
	切削オーバーレイ工	切削オーバーレイ工																															
	雑工	上記以外の合計																															
品名	規格等	数量	引渡場所及び引渡時期	貸与期間																													
標識車	2 t	3 台	市原管理事務所 工事開始時	工事期間中																													
標識	車載式	—																															
交通規制標識類	高速道路等の交通規制に必要な数量	1 式																															
正	<p>表の提出」で規定する工程表（様式-1）と合わせて提出するものとする。また、工事費構成内訳書の提出は、当初契約締結時とし、契約変更時の提出は要しないものとする。</p> <p>1 0. 工程表及び履行報告に関する事項 共通仕様書 1-1 9-1 「工程表の提出」及び 1-1 9-2 「履行報告」に規定する工程表（様式-1）の記入方法は次のとおりとし、履行報告書（様式-2）と合わせて提出するものとする。</p> <p>(1) 共通仕様書 1-1 9-1 「工程表の提出」に規定する工程表</p> <ol style="list-style-type: none"> 準備工・後片付けは、工程のみを棒グラフで記入する。 準備工・後片付け以外の項目は、工程を棒グラフで記入し、棒グラフの上段に各月ごとに累計計画出来高（％）を記入する。 右側摘要部分の目盛に従い計画出来高累計曲線を記入する。 工程表に示す項目は下表のとおりとする。 <table border="1" data-bbox="695 1881 1388 1985"> <thead> <tr> <th colspan="2">工程表の項目</th> <th colspan="2">単価表の項目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>各路線別及び橋梁別</td> <td>オーバーレイ工</td> <td>オーバーレイ工、レベリング工、床版防水工、路面切削工</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>切削オーバーレイ工</td> <td>切削オーバーレイ工</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>雑工</td> <td>上記以外の合計</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 共通仕様書 1-1 9-2 「履行報告」に規定する工程表 上記、工程表に下記の事項を記入し報告するものとする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 棒グラフの下段に当月までの累計実施出来高を記入し、翌月以降の予定を（ ）で記入する。 計画出来高累計曲線に当月までの累計実施出来高及び翌月以降の予定を点線で記入する。 <p>1 1. 貸与品に関する事項 契約書第 1 5 条第 1 項に基づく貸与品は、下表のとおりとし、設計図書に定められた使用目的以外に資機材を使用してはならない。</p> <table border="1" data-bbox="695 2246 1388 2386"> <thead> <tr> <th>品名</th> <th>規格等</th> <th>数量</th> <th>引渡場所及び引渡時期</th> <th>貸与期間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>標識車</td> <td>2 t</td> <td>4 台</td> <td rowspan="3">市原管理事務所 工事開始時</td> <td rowspan="3">工事期間中</td> </tr> <tr> <td>標識</td> <td>車載式</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>交通規制標識類</td> <td>高速道路等の交通規制に必要な数量</td> <td>1 式</td> </tr> </tbody> </table> <p>貸与機械の使用は無償とする。なお、機械の運転に要する燃料、油脂、現場修理及び管理に要する費用は、関連する単価表の項目の単価に含まれるものとし、別途支払は行わないものとする。</p> <p>1 2. 保安に関する事項 1 2-1 安全管理の強化 1 2-1-1 第三者被害を想定した重大事故防止の取組み</p> <p>(1) 定義 第三者被害を想定した重大事故防止の取組みとは、第三者への被害が想定される事故や供用中道路の通行止めや大渋滞に至る事故等（以下「重大事故リスク」という。）について、受発注者が一体となって安全向上に努める取組みをいう。</p> <p style="text-align: center;">9</p>	工程表の項目		単価表の項目		各路線別及び橋梁別	オーバーレイ工	オーバーレイ工、レベリング工、床版防水工、路面切削工			切削オーバーレイ工	切削オーバーレイ工			雑工	上記以外の合計		品名	規格等	数量	引渡場所及び引渡時期	貸与期間	標識車	2 t	4 台	市原管理事務所 工事開始時	工事期間中	標識	車載式	—	交通規制標識類	高速道路等の交通規制に必要な数量	1 式
工程表の項目		単価表の項目																															
各路線別及び橋梁別	オーバーレイ工	オーバーレイ工、レベリング工、床版防水工、路面切削工																															
	切削オーバーレイ工	切削オーバーレイ工																															
	雑工	上記以外の合計																															
品名	規格等	数量	引渡場所及び引渡時期	貸与期間																													
標識車	2 t	4 台	市原管理事務所 工事開始時	工事期間中																													
標識	車載式	—																															
交通規制標識類	高速道路等の交通規制に必要な数量	1 式																															